

平成 30 年 2 月 24 日

平成 29 年度国臨協関信支部主催症例検討会

臨床検査による診察作法を身につける！

RCPC－患者さんから学ぶ臨床検査の読み方・考え方－

検査を読むと言うことは診察作法の一つであり、Reversed CPC (RCPC) は検査の読み方を学習するツールです。RCPC は病気の当てものではありません。どのような病態にあるかを読みとる力を養うことが目的です。

以下の検査データを読んで、どのような病態にあるかを考えて下さい。目立つ検査データにすぐに飛びつかないで、全体を丁寧に読む癖をつけましょう。色々なことを考えながら、患者さんがどのような状態にあるかをイメージしましょう
(天理よろづ相談所病院 臨床検査部 松尾収二)

【事例 1】全身倦怠感と黄疸にて入院となった 50 代女性

RBC	(370-500×10 ⁴ /μL)	361	総蛋白	(6.7-8.1 g/dL)	6.4
Hb	(11.5-14.5 g/dL)	11.7	アルブミン	(4.0-5.0 g/dL)	2.3
Ht	(36-45 %)	32.4	グロブリン	(2.6-3.2 g/dL)	4.1
MCV	(84-99 fL)	90	α1-グロブリン	(1.5-2.8 %)	2.1
MCH	(27-34pg)	32.4	α2-グロブリン	(5.0-9.6 %)	4.2
MCHC	(31-35 %)	36.1	β-グロブリン	(8.0-12.8 %)	9.7
血小板	(15-35×10 ⁴ /μL)	12.7	γ-グロブリン	(11.0-23.5 %)	48.0
白血球	(3500-8000/μL)	4,200	LD	(100-225 U/L)	775
桿状核球	(1-3 %)	1	AST	(11-32 U/L)	937
分葉核球	(45-70%)	72	ALT	(3-30 U/L)	421
単球	(1-7 %)	4	総ビリルビン	(0.2-1.0 mg/dL)	7.1
好酸球	(1-3 %)	—	直接型	(%)	86
好塩基球	(0-1 %)	—	γ-GT	(10-40 U/L)	107
リンパ球	(20-45 %)	23	ALP	(100-335 U/L)	639
CRP	(<0.2 mg/dL)	0.8	NH3	(20-70 μg/dL)	91
PT	(9.8-11.8 sec)	20.1(11.3)	アミラーゼ	(70-185 U/l)	140
APTT	(24-38 sec)	45.7(29.2)	Na	(139-147 mmol/L)	140
フィブリノーゲン	(170-370 mg/dL)	100	K	(3.5-4.8 mmol/L)	4.2
アンチトロンビン	(70-125 %)	30	Cl	(101-111 mmol/L)	109
FDP	(<5 μg/mL)	13	Ca	(2.1-2.5 mmol/L)	1.9
尿素窒素	(7-19 mg/dL)	6.6	P	(0.7-1.4 mmol/L)	1.1
クレアチニン	(0.5-0.9 mg/dl)	0.7	HB抗原	(-)	(-)
血糖	(65-110 mg/dL)	124	HCV抗体	(-)	(-)
総コレステロール	(110-220 mg/dL)	78			
コリンエステラーゼ	(215-460 U/L)	133			

【事例 2】70 代男性. 悪性リンパ腫治療後, 発熱, 全身倦怠感が持続するため受診

		RA *1
pH	(7.35-7.45)	7.385
PaCO ₂	(35-45 torr)	20.3
PaO ₂	(80-90 torr)	38.7
BE	(0±2 mmol/L)	-11.3
HCO ₃	(21-30 mmol/L)	11.9
CO ₂ ct	(22-31 mmol/L)	12.5
SaO ₂	(96-97 %)	67.6
O ₂ ct	(16-23 mlO ₂ /dL)	10.2
Hb	(11.5-14.5 g/dL)	10.7
Na	(139-147 mmol/L)	132
K	(3.5-4.8 mmol/L)	3.9
Cl	(101-111 mmol/L)	107
Ca	(8.4-10.0 mg/dL)	8.2
Anion gap *2	(9-15 mmol/L)	17.0
Alb	(4.0-5.0 mg/dL)	2.8
Urea-N	(7-19 mg/dL)	34.7
Creatinine	(0.6-1.2 mg/dL)	1.4

*1 RA : Room Air

*2 Anion gap =(Na+K)-(Cl+HCO₃)